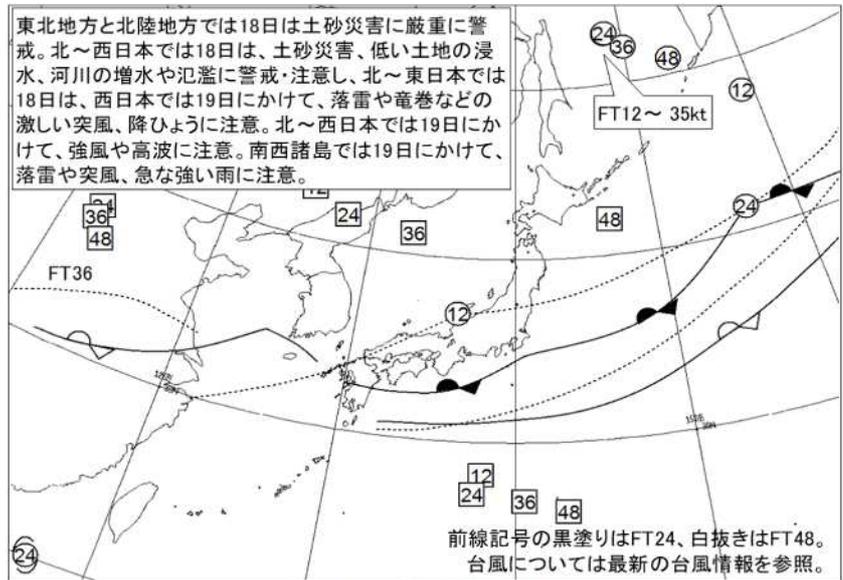


1. 実況上の着目点

① 500hPa 5820m付近の強風軸に対応する前線が華中から日本海と東北地方を通り日本の東へのびている。日本海中部の前線上の低気圧が東進。前線近傍では非常に激しい雨を解析し、発雷とメソサイクロンを検知。500hPa 5700m付近で-15°C以下の寒気を伴うトラフが朝鮮半島付近を東進。

② 高気圧が日本の南でほとんど停滞。高気圧の縁辺を回る下層暖湿気や上層寒冷低気圧の影響で、南西諸島では強い雨を解析し、発雷を検知。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の前線は、18日夜までに本州を通過し、19日にかけて本州の南の海上から日本の東で停滞する。日本海の前線上の低気圧は18日夜までに不明瞭化する。また、1項①のトラフは、19日にかけて北日本を通過し日本の東へ進み、北～西日本にかけて上空の寒気が南下する。前線や低気圧に向かう下層暖湿気、日中の昇温や上空の寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い非常に激しい雨の降る所がある。東北地方と北陸地方では18日は土砂災害に嚴重に警戒。北～西日本では18日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒・注意し、北～東日本では18日は、西日本では19日にかけて、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。また、前線の影響で強い風が吹き、波が高くなる所がある。北～西日本では19日にかけて、強風や高波に注意。

② 1項②の高気圧は、19日にかけて日本の南から小笠原近海に留まる。西～東日本で2項①の降水の影響が小さい地域では、18日は晴れて気温が上昇し、猛暑日または猛暑日に近い気温となる所がある。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。一方、高気圧縁辺を回る下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となる所がある。南西諸島では19日にかけて、落雷や突風、急な強い雨に注意。

③ 500hPa 5760m付近の正渦度極大域に対応し、19日朝までに華中で前線が発生し、20日にかけて東へ進み日本海で前線上に低気圧が発生し、低気圧は北日本へ進む見込み。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となる可能性がある。北～西日本では20日は、落雷、突風、降ひょう、短時間強雨に留意。また、低気圧の影響で強い風が吹き、波が高くなる可能性がある。北日本では20日は、強風や高波に留意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。20日に日本海へ進む前線や低気圧の予想はモデル差が大きいことに留意。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時から24時間)：中国120、関東甲信・北陸・九州北部100mm。② 波浪(明日まで)：伊豆諸島・近畿・中国・九州北部3m。③ 高潮(明日まで)：東～西日本で、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を5時頃に発表予定。